

第148号

発行 安住寺(年4回発行)  
臨濟宗南禅寺派  
大分県杵築市大字南杵築379  
〒873-0002 Tel.0978-62-2680  
http://www.anjyuji.net

編集 矢野明玄  
印刷 安住寺

安住寺だより



禅の心

仏心とは大慈悲是なり

今年の夏は、大変な異常気象でした。梅雨明けが発表されてからが本当の梅雨のようでした。各地に集中豪雨が発生し、特に広島市では大変な被害が発生しました。亡くなられた方々、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

それでも暦は秋になり、猛暑も一段落。秋の彼岸を迎えました。彼岸は、六つの徳目を励み、仏心を自覚することだ。と、過去に申しました。仏心・仏性のまま生きましよう。とも申し上げました。

共に喜び 共に悲しむ

観無量寿経には「仏心とは、大慈悲是なり」と説かれています。慈悲(maitori(マイトリ))の訳で元は、友情・親愛の情を意味します。一般的には、いつくしみと理解されています。悲はkaruna(カルナ)で憐み、優しさ、同情などを意味しています。ですから「慈悲」には、上下の関係では無く、同じ立場で心を通い合わせる。慈しみの行いが伴わなければなりません。しかし、相手の立場になることは簡単ではありません。言葉では何とか言えますが、本当に相手の心が分



安住寺聖観音像

かるかと聞かれれば、自信が持てないでしょう。そこで求められているのが、真実・無限の慈悲としての大慈悲なのです。いわゆる『仏心』ということになるのです。ただ優しいだけではダメなので、見当違いの友情は逆に相手を傷つける結果につながります。例えば、被災された方や悩んでいる方に「頑張ってください」と言って怒られたとか、かえって落ち込んでしまったとか聞きました。詩人のゲーテは「分かちたる喜びは倍したる喜びなり」と言っています。私たちは、身も心も完全に相手に成り切ることはできませんが、話を聞き、相手の気持ちを察すること、話ができます。共に悲しめば悲しみは半減し、共に喜べば嬉しさは倍増するでしょう。問題は解決できなくても悩みは薄れていくでしょう。単なる

る同情でも、悩んでいる人にとつては、苦しみの元や気持ちを察してくれただけでも有り難いと思うものです。しかし、時と場合や相手の受取り方で逆に落ち込んだり、気分を害する結果になることもあります。そこで大事になるのが普段の付き合い方や、本人の人間性ではないでしょうか。そのところを大慈悲とお経では説いています。大は大きいとか大そうなだけでなく深いという言葉も含まれています。

各地に風水害が発生しました被災された方々に心からお見舞いを申し上げます

行事予定

- 10月8日 独秀流ご詠歌
- 10月17日 ご詠歌・観音講
- 10月21日 写経写仏の会
- 10月28日 合掌会バス旅行
- 10月28日 寺交流Gゴルフ大会
- 11月5日 独秀流ご詠歌
- 11月17日 ご詠歌・観音講
- 11月25日 写経写仏の会
- 11月28日 合掌会奉仕作業
- 12月8日 独秀流詠歌(納会)
- 12月17日 観音講(十時より)
- 12月20日 写経写仏の会

坐禅会・毎月第二、第四土曜日・6時半

都合により、変更することがあります。

# 墓参り

「ささやける風に母あり墓洗う」

遠藤匡子

こんな俳句を目にしました。  
暑さ寒さも彼岸まで。

今年は雨にたたられ、夏らしい日が少なく、洗濯物や農作業などお困りになったことでしょう。

さて、慌しい棚経参りの中では、ゆっくり腰を据えて檀家の方々とお話をすることも少ない。その日の予定を終えなければと、つついとお経も早くなる。そんな中、ふと話し込むことが何度かある。

このお盆にお話された中で、記憶に残る方があります。

長年都会で仕事をされ、定年後ご主人の故郷柵築に戻っておりましたが、お盆を前に三十数年ぶりに、故郷の両親が眠るお墓にお参りされたご婦人のことであります。



伺いましたら、故郷は東北の方だそうで、ご主人の元氣な頃から里帰りを願っていましたが、この程ようやく念願かなって、ご両親の眠る墓

前に手を合わせる事が出来たとのこと。心がすつきりされたとお話されていた表情がとても穏やかに見えた。  
坂村真民先生の「わたしは墓のなかにはいない」の詩を紹介させていただきます。

わたしは墓のなかにはいない  
わたしはいつもわたしの詩集のなかにいる

だからわたしに会いたいなら  
わたしの詩集をひらいておくれ

わたしは墓を建てるつもりで  
詩集を残しておくから

どうか幾冊かの本を  
わたしと想うてくれ

妻よ 三人の子よ  
法要もいらぬ

墓まいりもいらぬ  
わたしは墓の下にはいないんだ

虫が鳴いていたら  
それがわたしかも知れぬ

鳥が呼んでいたら  
それがわたしかも知れぬ

魚が泳いでいたら  
それがわたしかも知れぬ

花が咲いていたら  
それがわたしかも知れぬ

蝶が舞っていたら  
それがわたしかも知れぬ

それがわたしかも知れぬ

わたしはいたるところに  
いろいろな姿をして  
とびまわっているのだ  
墓のなかなどに  
じっとしてはいることを知っておくれ

坂村先生のこの詩、また思い出されるのは秋川雅史さんでヒットした「千の風になって」でも、亡くなった「わたし」はお墓のなかに居ないと書かれています。

さて、皆さんはお墓に参られるとき、亡き人がお墓にいますかと思ってお参りされますか？どのような心境で参られているでしょうか。

坂村真民先生のこの詩、たんに私は墓の中に居ない、法要は要らぬ、墓参りも要らぬと、解してはならないと思います。

坂村先生は著書に

「私は詩人になるために詩を書くんじゃないんです。自分を作り上げるために詩を書いている。詩を書くことによって、自分と言うものを作り上げる。それで詩をかいいているわけです。——自分を作り上げるために——それが天地宇宙の教えなのです。」と記されています。

残された詩集を読むのではなく、作詩という行によって自分を作り上げた生き方を、感じて欲しい。

また、虫や鳥、魚や花や蝶といった自然の中に、わたしを感じて欲しいと詠まれているのです。

更にいえば、「わたし」は亡きわたしではなく、妻や三人の子供の中にある仏心を云われているように思います。

禅では「山川草木悉有仏性」と説き、一切の衆生から、自然の中の全てに仏性を見ます。



坂村先生はこの詩に、一行三昧の生き方と、天地宇宙に溢れる仏、自己の中の仏を知りなさいと説いたのではないのでしょうか。

棚経でお話させていただいたご婦人は、故郷を離れ一生懸命生きて三十数年間を想い、そして故郷の自然、風に触れながら、お墓参りが出来たことよって、無意識に内なる仏性に出会われたのではないのでしょうか。それにしても、横殴りに降っていた外の雨に比べ、清々しく穏やかなご婦人の表情が思い出されてなりません。

お彼岸には、皆さん方もお墓参りをされることでしょうか。  
何を感じながらお参りされるのでしょうか。

### 第五回杵築市仏教会交流

#### グランドゴルフ大会開催

日時…平成二十六年十月二十八日  
 場所…杵築市営サッカー場（山香）  
 開会…午前九時十五分  
 参加…1チーム6名補欠2名まで

登録可  
 各寺院3チームまで出場



※例年参加いただいている皆様は、声を掛けておりますが、是非参加してみたいという方がありましたら、お寺までお申込下さい。

#### 〽 棚経の御礼 〽

「禅の心」お盆号でお知らせしましたように、小僧見習いの、長男・長女を連れて棚経をお勤めさせて頂きました。

長女は途中から座っているのがやつのようで、キョロキョロしたり、経本を団扇代わりにしてみたりと苦戦しておりました。それでも、六日間で七十五軒のお宅

をお勤めさせていただくことが出来ました。中にはお土産まで準備して下さいました。心から感謝申し上げます。今後、ご指導、護法愛を賜りますようお願い申し上げます。

#### 『 佛山寺・寺子屋 』

七月二十八日、由布院・佛山寺で臨済宗青年僧の会主催の寺子屋が開催されました。



安住寺からは七名の子供が参加いたしました。

坐禅、法話、紙芝居、金鱗湖散策等充実した一日を過ごしました。

特に、古い蓄音機でのレコードを聞かせて頂いたことに、子供たちは感心していました。デジタルな音質に慣れた子供たちには新しい体験でした。

暑い季節にもかかわらず、由布院の涼しさに子供たちも驚いていました。

#### 『 夏合宿(杵築少年剣道部) 』



八月二十日・二十一日の一泊二日、今年も杵築少年剣道部の夏合宿を、二十七名の子供たちの参加で、行いました。

参加回数を重ねた子供たちは、般若心経も上手に唱え、坐禅もしっかり坐れていました。

この経験が多岐に生かして欲しいと思います。

#### 【日々是好日】

●今夏の野菜の高騰には皆さん驚きのことと思います。私の菜園も長雨と、管理不行き届きでさっぱりでした。そんな折に頂いた、お野菜のありがたかったこと、美味しく頂きました。●いよいよ来月、不惑の誕生日を迎えます。誕生日を前に初めて日帰り人間ドックを経験しました。特に異常が無くホッとしております。健康が何よりです。●七月二十五日、APUの職員五名が坐禅体験に来山しました。聞けば皆さん違う県出身。心のリフレッシュにと熱心に坐られました。●八月は、写経会も坐禅会もお盆月で休会でした。過ごしやすいこの時期に、新たに参加してみませんか。定例坐禅会は第二・第四土曜日ですが、日程が変更される場合があります。初回はお尋ね下さい。なお十月より午前六時半からとなります。●九月一日、臨済宗青年僧の皆さんで、広島市豪雨災害の義損托鉢を大分市内で行いました。

●寺子屋・合宿の紹介をさせて頂きました。クラブや職場などで坐禅体験等希望がありましたら、お気軽にお尋ね下さい。●安住寺だより「禅の心」も一四八号になります。少しでもお寺のことを知っていただきたいと、願っております。少しでも多くの方に読んで頂ければ幸いです。時折頂くご感想も励みとなっております。ありがとうございます。(明玄)

①四大 「四大不調のところ薬石効なく」  
 などと言います。四大とは、地・水・火・風のことで、一切の物質を構成する四大元素を指します。(1)地大∥堅さを本質とし、ものを保持する作用。(2)水大∥湿り気の本質とし、ものを取り入れる作用(3)火大∥熱さを本質とし、ものを成熟させる作用。(4)風大∥動きを本質とし、ものを成長させる作用をもつ。これらが集まって物質が生ずると仏教では考えられてきました。この四大が不調になるとき病が生じます。風大に異変が起きると百一の風病(風邪)になり、火大の不調によつて百一の熱病になる。地大・水大も同じで、合計四百四の病があるのです。

### 仏教と数字

数字で表現する仏教の教えを紹介します



広石碩田先生画

色紙ご希望の方は、お申し出下さい。

平成26年9月15日を基準にした番付表です。

## 平成26年度 長寿番付表 安住寺敬老場所

西	年齢	おすまい	御免蒙	東	年齢	おすまい
中村	98		横綱	松川	99	
河野	98		大関	広石	98	
木付	96		同	藤原	97	
田代	96		関脇	上	96	
熊澤	95		同	荷宮	95	
江藤	95		同	大嶋	95	
阿部	94		小結	中島	95	
清末	94		同	中村	94	
高橋	94		同	今村	94	
阿部	93		前頭1	河野	93	
古田	93		同2	小田	93	
江藤	93		同3	平野	93	
末松	92		同4	近藤	92	
渡邊	92		同5	井上	92	
工藤	92		同6	藤原	92	
古庄	92		同7	宇都宮	92	
木野	92		同8	麻生	92	
木元	91		同9	阿部	91	
高橋	91		同10	麻生	91	
廣石	91		同11	柏屋	91	
前田	91		同12	川野	91	
藤原	90		十両1	宗田	91	
清原	90		同2	桜木	90	
梶取	90		同3	木付	90	
田椽	90		同4	井上	90	
麻生	90		同5	石井	90	
磯田	89		同6	是久	90	
麻生	89		同7	田辺	89	
渡邊	89		同8	松浦	89	



ご長寿

## 百歳を目指して

今年の長寿番付です。両横綱は、昨年と同じで松川さん、中村さんです。松川シズ子さんは、来月で満百歳になります。おめでたいことです。全国では、百歳以上が58,820名もおられるそうです。杵築市も年々増えて20名を超したそうです。松川さんは安住寺では横綱ですが市内では前頭です。95歳でもまだまだ幕下です。大分県一の長寿者は、杵築市の豊田ミツエさんで112歳です。檀信徒の皆様には、更に健康に留意して上位を目指して欲しいものです。

尚、89歳で番付表に載らない方が他に9名おられます。紙面の都合でお許し願います。誕生日順になっております。(閑栖記)